

5月21日の「どんぐり工房誕生10周年の集い」には70名を超す大勢の方に参加いただきました。おかげさまで賑やかで楽しい交流の場となりました。初めてお会いする方もあり、私たちの交わりの輪はさらに広がりました。これからいろいろな機会をとらえて語り合ひましょう。励まし合い、力を合わせて、住みよい街づくりをしていきましょう。

さて、10周年の集いの後、四街道に今年もホトトギスがやってきました。いつも5月の下旬になると南の国から飛んできます。この季節、わたしは耳を澄ましております。明け方や夕暮れが多いのですが、今年も24日火曜日の午後4時過ぎに忍び音を聴きました。5年前の夏、旭ヶ丘農園で草取りをしていたらホトトギスが鳴きながら飛んでいました。『鳴きつる方をながむればただ有明の月ぞ残れる』と、ふだんは姿を見せないのですが、そのときは、鳴きつる方に、はしゃぐようにして無邪気に飛んでいる姿を見たのです。

今年は昨年までとはなにか違う空気を感じているのでしょうか。福島を飛来地に定めているホトトギスは、いま、どうしているのでしょうか。郡山の友人から贈られてきた本の前書きにこうありました、「遠く離れて住まわれている方には実感できないかもしれませんが、原発事故が起きている福島に住む者としては、本当に目の前にある恐怖なのです。話しているうちに、おたがいに涙が出てきたりします」（富永國比古『放射性物質から身を守る食事法』河出書房新社）。人が涙を流す今年も、ホトトギスは初夏の双葉町や大熊町の空を、はしゃぐようにして無邪気に鳴きながら、身を守ることも知らずに飛んでいるのでしょうか。

ホトトギスの鳴き声を聴いたことがないという方には、インターネットでの鳴き声検索をお勧めします、「ホトトギス 鳴き声」と。きっと、「子供のころから聴いていた」と気づかれるに違いありません。

理事長 福間眞樹

NPO法人希望 平成23年度定例総会

平成23年度NPO法人希望定例総会が、5月21日(土)午前10時より四街道市南部総合福祉センターわろうべの里・多目的ホールで開催されました。

司会の渡邊皓寛理事が開会宣言し、総社員数55名のうち出席した社員数45名(本人出席30名)で総会成立が宣言されました。引き続き議長に小林征司理事、書記に百瀬久雄理事、議事録署名人に嶋田恵子理事、西公一理事が選任されました。福間眞樹理事長の挨拶の後、議事審議に入りました。

各議案について担当理事、監事より説明、報告がなされました。

物品の販売、科目の表記、議案書の配布、議案の説明方法、どんぐり工房の運営等につき活発な質疑応答、提案等がなされました。採決の結果、提出の議事は満場一致ですべて可決されました。

なお、理事については百瀬久雄さんが退任され、畑山静江さんが就任、監事は山田和男さんが退任、猿橋芳生さん、渡辺智昭さんが就任されました。

審議終了の後、百瀬久雄副理事長の閉会、理事退任の挨拶があり、総会は終了しました。

総会終了後12時よりどんぐり工房誕生10年を祝う会の集いに入りました。

希望活動状況

四街道市障害者自立支援協議会 5月31日(火) 15:30~17:00

全体会：各部の報告 防災部会が遅れている 今後の全体会議 8/19(金)・2/22(水)

四街道中学校区民生委員児童委員協議会 4月9日(土) わろうべの里

地区民生委員研修に出席し希望、どんぐり工房の紹介をしました。

心のふれあいフェスティバル 5月11日(水) 千葉市文化センター

職員2名、利用者2名参加。どんぐり坊やなどを展示販売し4,550円の売り上げがありました。

福祉施設の紹介と販売 6月17日(金)、18日(土) 主催：みんなで地域づくりセンター

陶芸品、手作りジャム、野菜等を展示販売しました。

理事会

定例 4月 7日(木) 出席者8名 平成22年度利用者実績について 総会資料の件 理事人事の件 常勤職員募集の件

臨時 4月26日(火) 出席者6名 総会資料の検討 10周年の集いについて

定例 5月12日(木) 出席者9名 総会資料の印刷、製本 総会と10周年の集いについて 他

定例 6月 2日(木) 出席者8名 平成23年度総会反省 どんぐり工房10周年記念の集いの反省 10周年記念誌の発行 どんぐり工房職員体制 その他

「どんぐり工房誕生10周年の集い」を終えて

NPO法人希望主催の「どんぐり工房誕生10周年の集い」は平成23年5月21日(土)12:00~14:30 わろうべの里多目的ホールで開催致しました。

ご来賓の方は、大変お忙しいところ28名のご参加をいただき、四街道市市長・佐渡斉様、四街道市社会福祉協議会会長・大岩重次郎様、中核地域生活支援センター所長・城所文恭様のご挨拶をいただきました。

短い準備期間でしたが、最初からどんぐり工房の利用者も一緒になって、アイデアを出し合いワイワイガヤガヤとすすめました。みんなで共有した時間はとても楽しく、協調性が強まったように思います。そのパワーをそのまま、当日の集いにつなぎ成功裏に終えることができました。いろいろあってもお互いに尊重する良い機会になったと思います。

義 援 金： 6,325円 地域精神保健福祉センターへ送金しました。

販売売上金：12,300円

記 念 誌：原稿を集めているところです。11月の交流会でお渡ししたいです。

(理事 田中 英子)

どんぐり工房活動状況

利用状況

3月の延べ利用者数は174人。平成22年度の延べ利用者数は1800人強でした。一時、利用者の減少がありましたが、平成22年度はほぼ目標の利用者数を達成できたものと思います。

新年度に入り4月は一日の利用者数が平均9人強、5月も9人強でした。今後もこの状況をつづけ、さらに増加していけたらと思っています。

編集後記 (KN)

2011年3月11日。日本の変換点になるのでしょうか。障害者政策へ影響が心配です。